

この夏、流れ星がいちばん流れる夜

スターダスト 2017

in さよう

2017 年

8 月 12 日 (土) 13:30~

兵庫県立大学

西はりま天文台

13:30 ~ 18:00 頃 オープンカレッジ

天文台の研究に関する実演や工作（「彗星と流星」、「偏光でさぐる宇宙」、「レジン〜紫外線の不思議〜」など）、普段は見られない裏側をめぐる「天文台マニアックツアー」ほか。

15:00 ~ 16:20 講演会 1

「流星群は彗星からの贈り物」

講師：小林 仁美 さん
(京都虹光房)



16:00 ~ 19:00 模擬店

ホルモン焼きうどん、焼きそば、鹿コロッケほか。

16:30 ~ 夜間観望会整理券 配布

夜間観望会の参加には整理券が必要です。

17:00 ~ 18:20 講演会 2

「宇宙の進化・宇宙の生命」

講師：海部 宣男 さん
(西はりま天文台名誉台長)



18:20 ~ 19:20

特別企画 ヴァイオリンコンサート

演奏：桑村 ティファニー さん



19:30 ~ 夜間観望会

望遠鏡で天体を観望します（流星は見ません）。整理券番号順にご案内します。雨天、曇天時は望遠鏡の解説をします。

翌朝まで 流星自由観察

敷地内を開放します（天文台の建物は、観望会終了後に閉館）。

主催：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 天文科学センター

後援：佐用町、佐用町教育委員会

協賛：株式会社ビクセン、西はりま天文台友の会

【お問い合わせ先】

兵庫県立大学 西はりま天文台

Tel: 0790-82-3886 E-mail: harima@nhao.jp

写真：大島 誠人

ペルセウス座流星群の観察について

1. どの方向に見える？

輻射点（流星が飛び出してくるように見える点）は、午後8時前に北北東から上がってきますが、実際には流星はどこに出現するか予測ができません。空を広く見渡して観察してください。

8月12日は、22時頃に半月よりも少し大きな月が昇ってきます。月明かりがあると流星は見えにくくなります。流星の数は翌13日4時頃にいちばん多くなる予報ですが、夜の早い時間の方が暗い流星まで見えます。月が出てきたら反対側を見るなどの工夫をするとよいでしょう。



8月13日午前0時の星空 (Stellariumで作成)

2. どうやって見る？

シートなどを敷いて寝転がり、空全体を眺めてください。天文台の敷地東側の芝生斜面などが観察に向いています。ただし**道路や駐車場で観察するのは危険ですので絶対にやめましょう。**



流星観察の際の注意

- ・ 山道には路上駐車しないでください。緊急車両の妨げになります。
- ・ 山道は、**佐用 IC 側の登り口から一方通行**になります。期間は、8月12日から13日朝までです。左の地図をご覧ください。
- ・ 駐車場は臨時を含めても駐車台数に限りがあります（約700台）。可能な限り乗り合わせてお越し下さい。
- ・ 敷地内は、火気の使用及び喫煙は厳禁です。
- ・ 観察の際は、常に周りにご配慮ください。夜間に強い明りをつけることはお控えください。
- ・ 多くの方々が流星観察にお越しになります。マナーを守って楽しく観察しましょう。